

R15b A Visual Search for Galaxies at a Milky Way Region around the North Galactic Pole

岩田 生 (京大理)、Adel T. Roman(National Research Institute of Astronomy and Geophysics, Egypt)、斎藤 衛 (京大理)

天の川領域は、強い星間吸収によって系外銀河の探査が困難な領域であるが、近傍銀河の分布を正確に知るためには系統的な探査が欠かせない。今回報告するのは POSS II(B) プレートを用いた $32^\circ \lesssim \ell \lesssim 68^\circ$, $b \simeq -4^\circ$ and 19° の領域の探査である。

この領域は north Supergalactic pole 周辺の約 560 平方度で、Local Void の一部を含んでいる。今回の探査で 0.1 以上のサイズを持つ 11310 個の銀河・銀河候補が検出された。それらの内 152 個は銀河として RC3 や CGCG などのカタログに登録されており、多くが赤方変移も測られている。また、159 個が IRAS 点源に付随しており、その内 48 個が既知の銀河である。

検出された銀河の空間分布は銀緯に沿ってかなりスムーズな分布をしており、際だった cluster などの構造は見られなかった。

この探査のデータを含む天の川領域の銀河のカタログが WWW で公開されている。

URL は、 <http://www.kusastro.kyoto-u.ac.jp/library/deptpub.html>